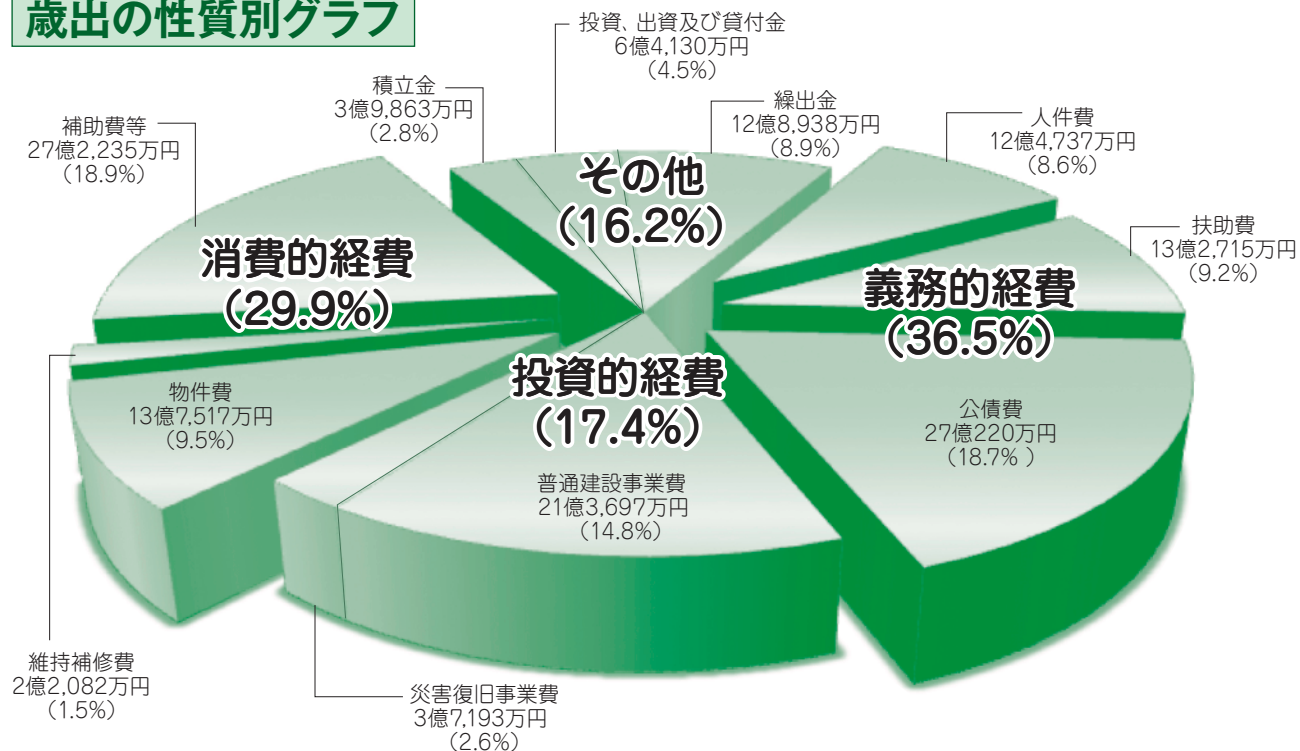


歳出の性質別グラフ



平成30年度 奥出雲町決算報告

平成30年度の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算が、9月定例議会で認定されました。町民の皆さんが納められた税金や国から交付される地方交付税などがどれだけ入り、どのように使われたのか、町の決算状況をお知らせします。

一般会計歳出 合計 144億3,327万円

用途	項目	金額 (万円)	割合 (%)
町議会の活動・運営のためのお金	議会費	8,327	0.6%
一般的な管理事務、徴税、戸籍、統計、選挙などのお金	総務費	20億6,682	14.3%
生活保護、子ども手当などの福祉のためのお金	民生費	21億1,678	14.7%
ごみ処理の経費や健康維持のためのお金	衛生費	17億6,461	12.2%
失業対策や勤労者の福利厚生のためのお金	労働費	1,403	0.1%
農業・畜産業・林業の振興のためのお金	農林水産業費	19億1,826	13.3%
産業や観光の振興のためのお金	商工費	1億9,148	1.3%
道路や街路の整備・維持管理のためのお金	土木費	21億136	14.5%
消防活動のためのお金	消防費	4億4,088	3.0%
小・中学校教育、公民館などのお金	教育費	6億4,673	4.5%
借入金の返済のためのお金	公債費	27億712	18.8%
災害を復旧するためのお金	災害復旧費	3億7,193	2.6%
普通財産を取得するためのお金	諸支出金	1,000	0.1%

一般会計歳入 合計 147億7,311万円

財源	項目	金額 (万円)	割合 (%)	説明
自主財源 23.5%	町税	12億1,380	8.2%	町民税、固定資産税など
	使用料及び手数料、分担金、負担金	4億3,804	2.9%	情報や公民館の使用料、事業の実質負担など
依存財源 76.5%	繰入金	3億3,406	2.3%	基金や特別会計から繰り入れるお金
	諸収入	7億7,734	5.3%	貸付金の元利収入など
	財産収入、寄附金、繰越金	7億640	4.8%	財産収入、寄附金など
	地方交付税	65億802	44.1%	税収の少ない市町村に一定のサービスが提供できるよう国が交付する税
	地方譲与税、利子割交付金等	4億696	2.7%	国や県が徴収した税のうち市町村に配分されるお金
	国庫支出金	13億503	8.8%	国が特定の事務事業に対して交付するお金
	県支出金	10億8,060	7.3%	県が特定の事務事業に対して交付するお金
	町債	20億286	13.6%	施設の整備や地方交付税の収支不足について国や銀行などから借りるお金

町債等を合計すると76.5%で、依然として国や県に依存した財政構造となっています。

また、1年間に町が収入したお金(歳入)は、町税や町債などに分類し、町が支出したお金(歳出)は、その目的によって分類しています。これによって町が自由に使う道を決めることができるお金(自主財源)がどのくらいあったのか、またどういった行政目的にどれだけのお金を使ったのかを見ることが出来ます。

歳出は目的別に分類するだけでなく、人件費や扶助費など支払ったお金の性質別に分類することで、義務的な経費、消費的な経費、投資的な経費などの割合を見ることが出来ます。平成30年度一般会計決算の性質別分類は円グラフのとおりです。

義務的経費が52億7,672万円(36.5%)、消費的経費43億1,834万円(29.9%)、投資的経費が25億8,900万円(17.4%)でした。

決算から分かること

歳入決算額のうち依存財源といわれる地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、

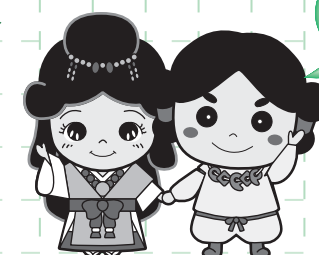
歳出

歳出総額の決算額は144億3,327万円です。前年度と比較して1億5,100万円(0.7%)の減となりました。

歳入

歳入総額の決算額は147億7,311万円です。前年度と比較すると6,225万円(0.4%)の減となりました。

一般会計



町のお金って
どうなっているの？